

リニア駅ができるまち飯田



? リニアの駅って、
どーなるの? ?



実施設計(土木関係)の成果

実施設計の成果

リニア駅前空間の概要

交通広場エリア

駐車場エリア

交流広場・コミュニティ広場

リニア駅前空間のイメージ

本日の発表内容（全体）

トークセッション

リニア時代のまちづくりに向けて

小澤 一郎 氏

北川原 温 氏

飯田市長 佐藤 健

リニア駅前空間の概要

1

位置図

2

リニア駅の概要

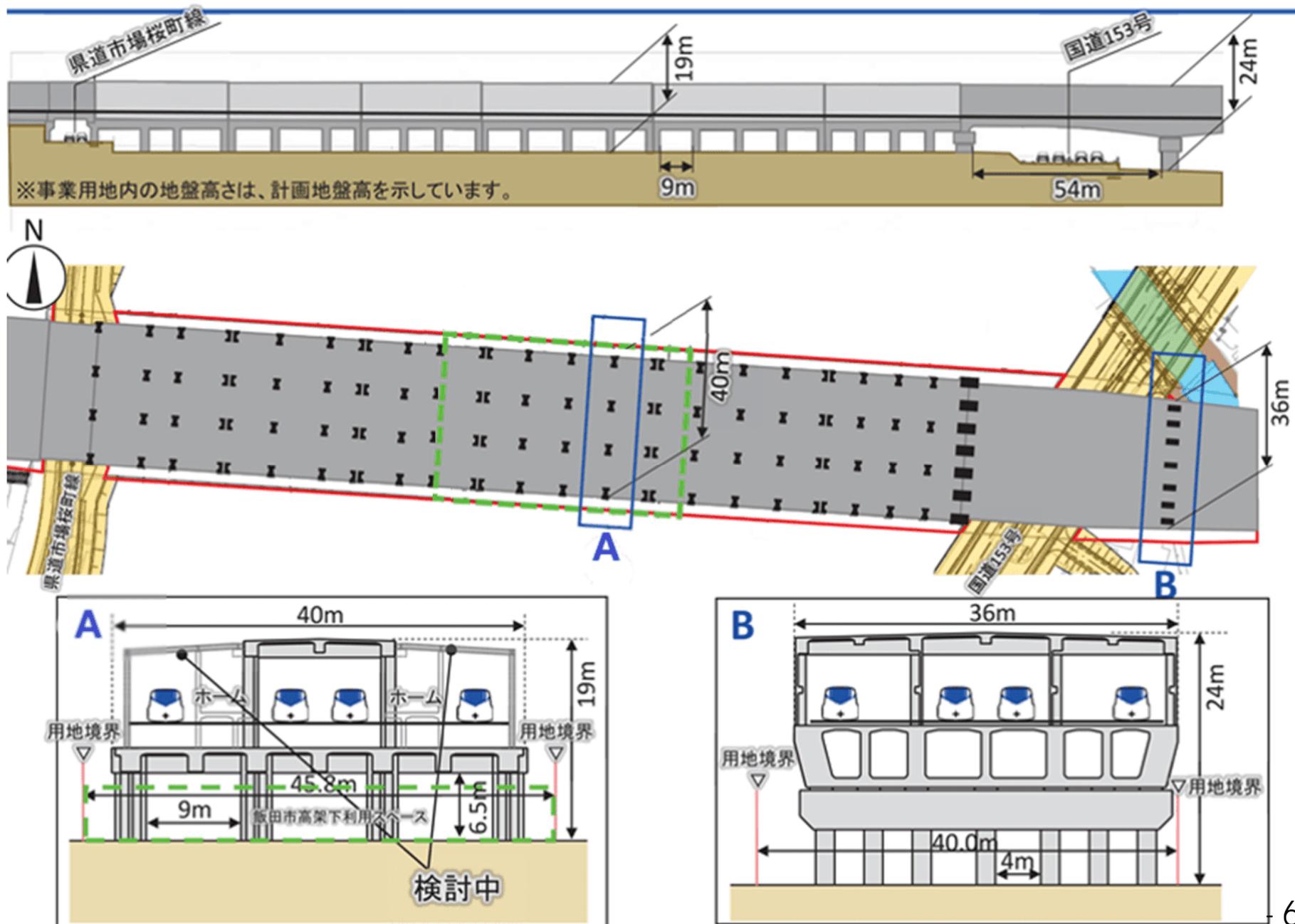
3

平面図

リニア駅前空間の概要（1 位置図）



リニア駅前空間の概要（2 リニア駅の概要）



リニア駅前空間の概要（3 平面図）



交通広場エリア

1

利便性と安全性

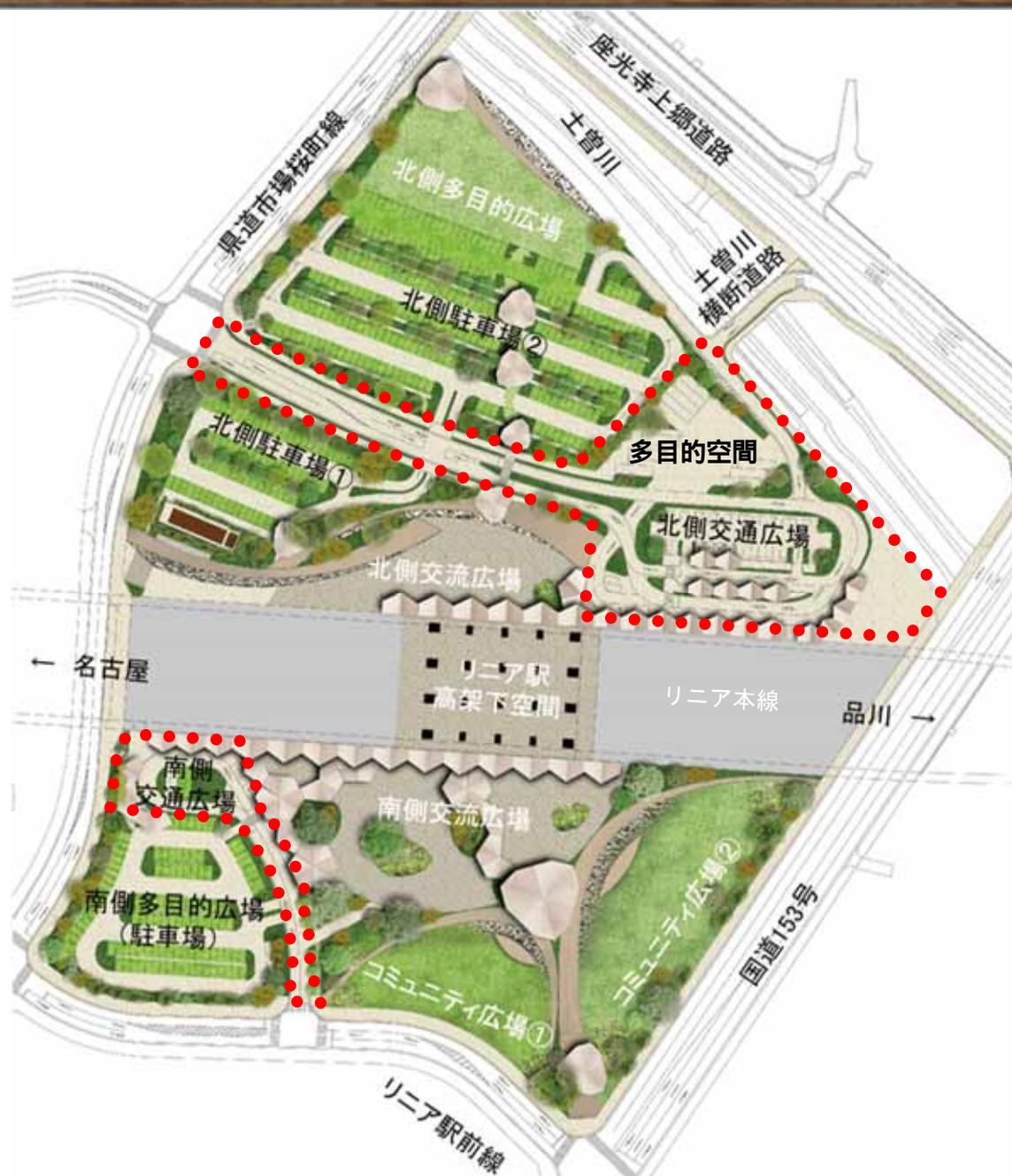
2

レンタカー・カーシェアへの対応

3

E V等の新たなモビリティへの対応

交通広場エリア（配置図）



交通広場エリア（ 1 利便性と安全性 ）

1 利便性と安全性

意見要望

リニアに乗る前や降りた後に、できる限りスムーズに自家用車やタクシー、バスに乗り降りできるようにしてほしい。

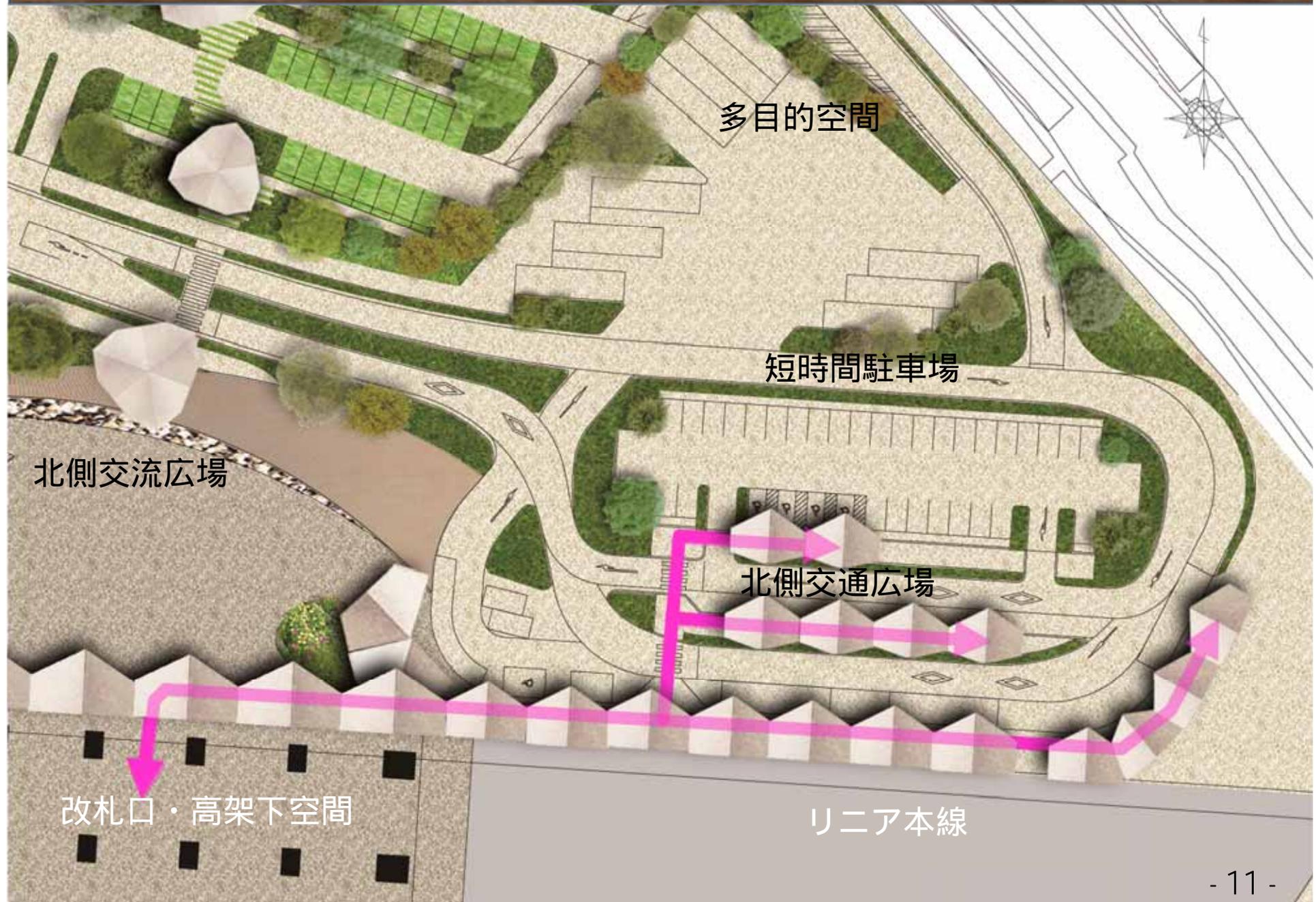
車の乗降場所や歩行者の通路について、歩行者の安全がしっかり確保できるようにしてほしい。

対応方針

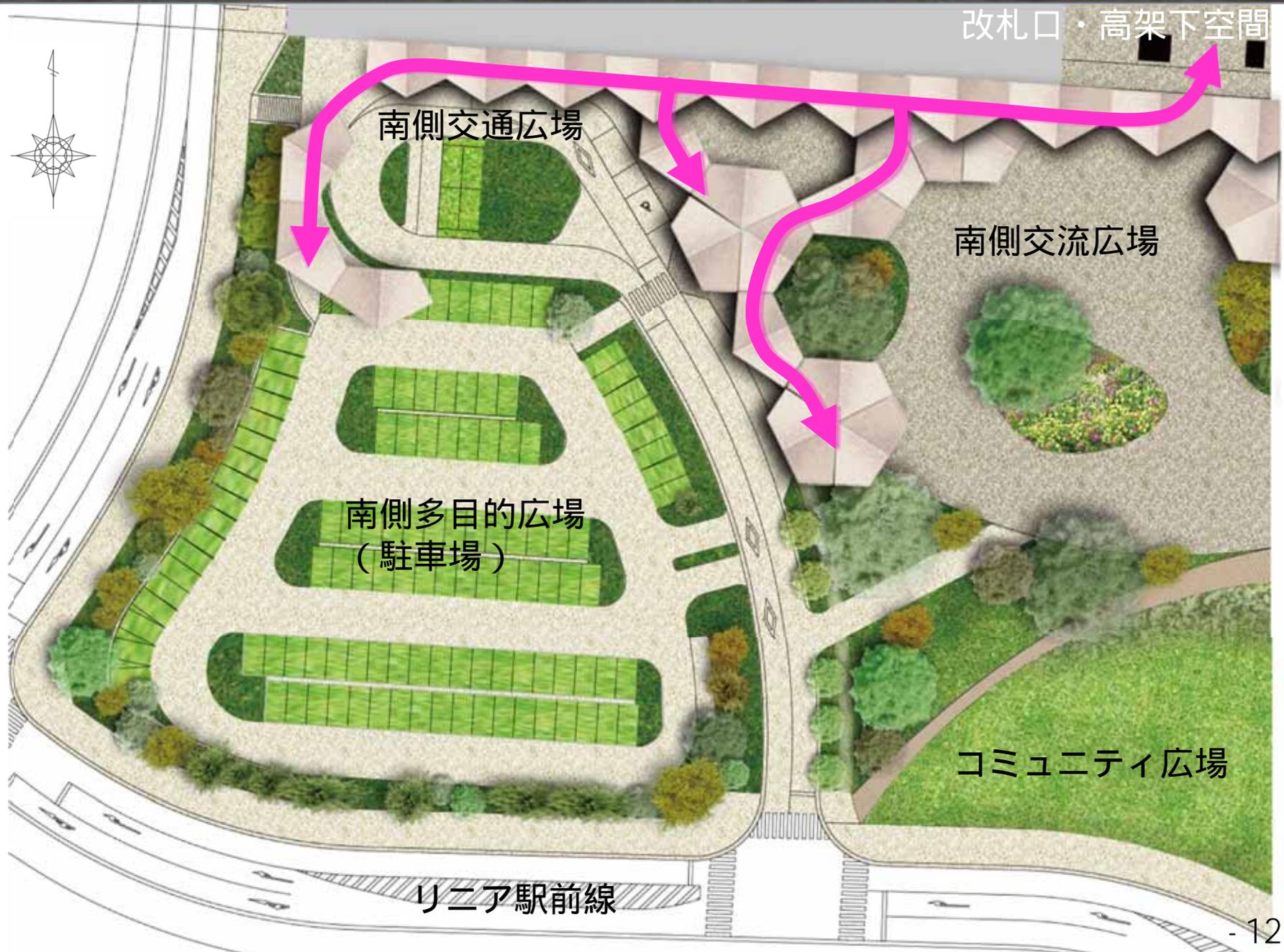
乗降・駐車場所に関しては、高低差や移動距離等の観点を踏まえて、車椅子利用者や要配慮者を優先しながら、バス・タクシーや自家用車の利用者にとっても、利便性の高いエリアとなるよう整備する。

歩車分離を明確にし、横断歩道も見通しがきく等、子どもからお年寄りまで安全に利用できる交通広場を整備する。

交通広場エリア（ 1 利便性と安全性 ）



交通広場エリア（ 1 利便性と安全性 ）



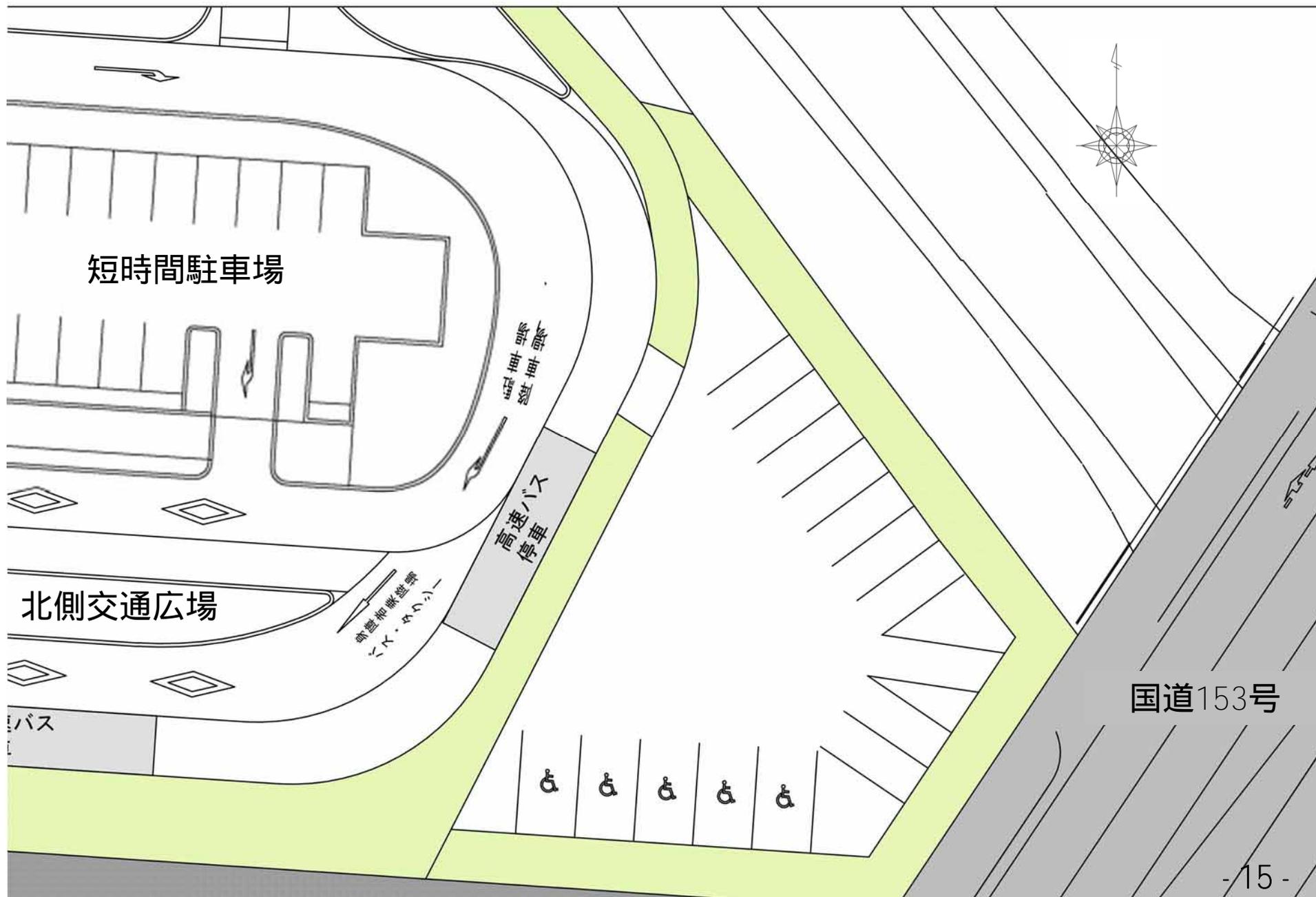
交通広場エリア（2 レンタカー・カーシェア等への対応）

2 レンタカー・カーシェア等への対応	意見要望	<p>観光面やビジネス面からは、公共交通機関だけでなく、レンタカーやカーシェアリングでの移動も想定すべき。</p>
		<p>これらを使い勝手よく利用できるようなスペースの確保と運用を考えて欲しい。</p>
	対応方針	<p>需要増が見込まれるレンタカー・カーシェア等についてはリニア駅前空間内に新たなスペースの確保を検討する。</p>
		<p>リニア駅の高架下空間内でのコンシェルジュ機能の拡充等 を検討しながら、利便性の高い運用を目指す。</p>

交通広場エリア（2 レンタカー・カーシェア等への対応）



交通広場エリア（2 レンタカー・カーシェア等への対応）



交通広場エリア（3 EV等新たなモビリティへの対応）

3 EV等の新たなモビリティへの対応

意見要望

環境や防災のことも考えると電気自動車(EV)への対応を充実しておくべきだと思う。

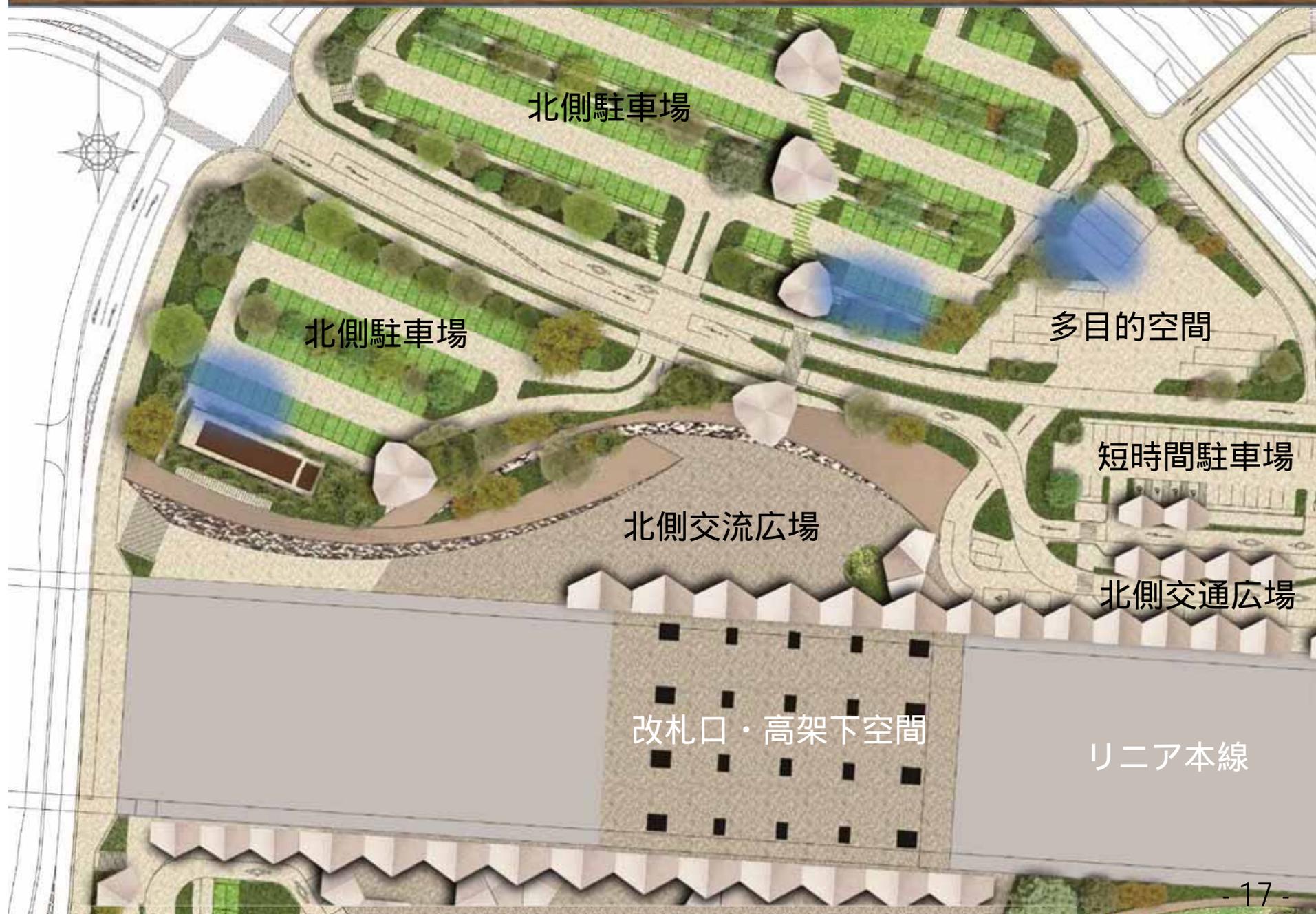
今後様々な新しいモビリティの登場が予想されるので、使い方や場面を想定して、柔軟な対応ができるようにしてほしい。

対応方針

EV普及への対応や、災害時におけるEVの活用を想定し、EVステーションや蓄電池設備等の設置を検討する。

北側交通広場内のバスの駐車場利用を中心に想定しているエリア(多目的空間)については、次世代モビリティの普及等による将来の変化にも対応できる整備とする。

交通広場エリア（3 EV等新たなモビリティへの対応）



交通広場エリア（ 3 EV等新たなモビリティへの対応 ）



駐車場エリア

1

駐車台数

2

柔軟なスペースの活用

3

環境・景観への配慮

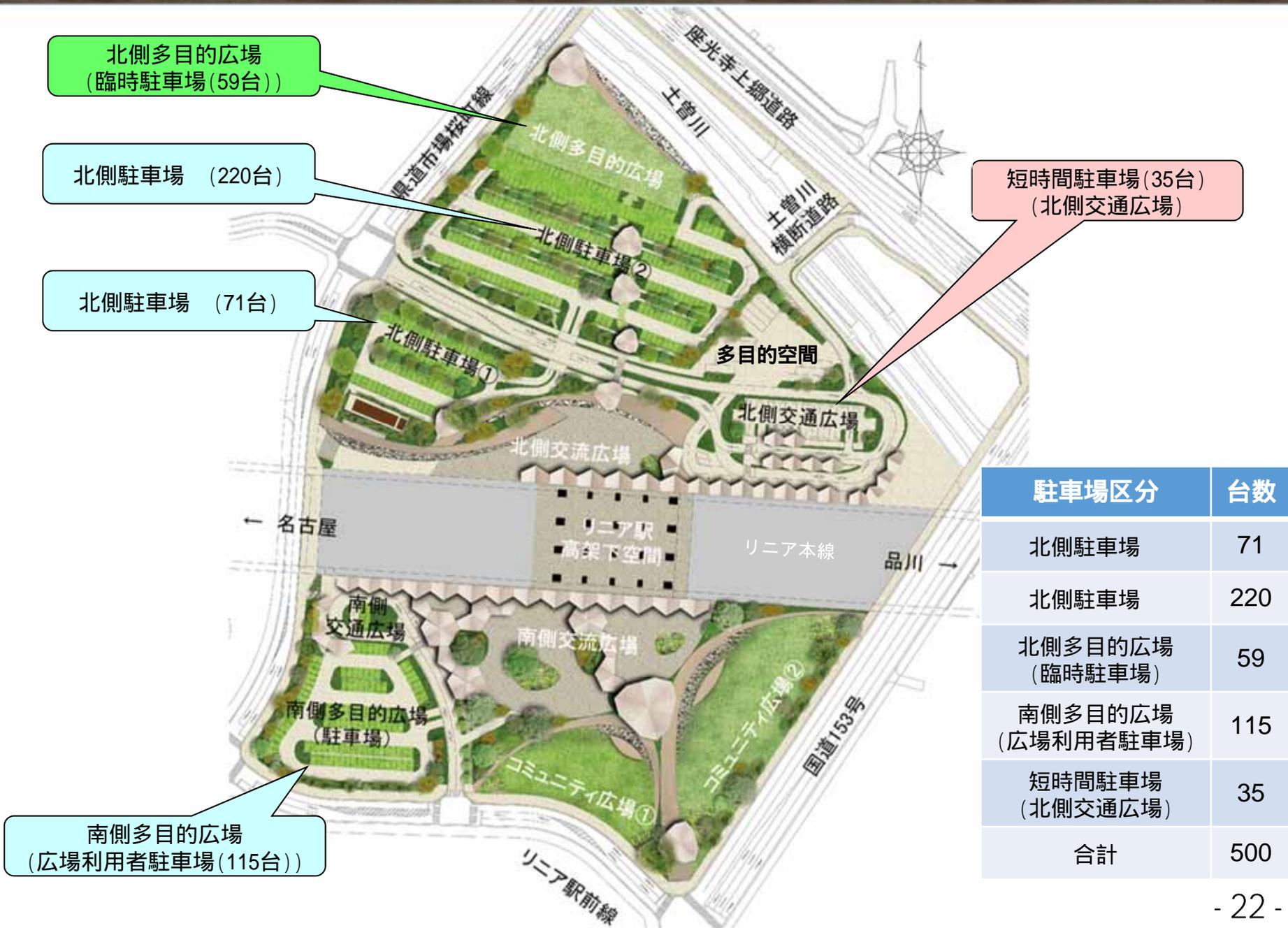
駐車場エリア（配置図）



駐車場エリア（ 1 駐車台数 ）

1 駐車台数	意見要望	<p>駐車場がリニア駅前空間にはどのように配置されるのか。</p> <p>イベント等に利用する駐車場は想定しているのか。</p> <p>どの駐車場に何台、また全体で何台、車をとめることができるのか。</p>
	対応方針	<p>利用想定に応じた、駐車場を5カ所設置する。</p> <p>北側多目的広場は、イベント開催時等の場合には、臨時駐車場として利用することを想定。</p> <p>駐車台数は、全体で500台を整備する。</p>

駐車場エリア (1 駐車台数)



駐車場エリア（ 2 柔軟なスペースの活用 ）

2 柔軟なスペースの活用

意見要望

リニア駅前空間の効果的な活用が大切。

駐車場へは整然と車が停められる仕組みが必要。

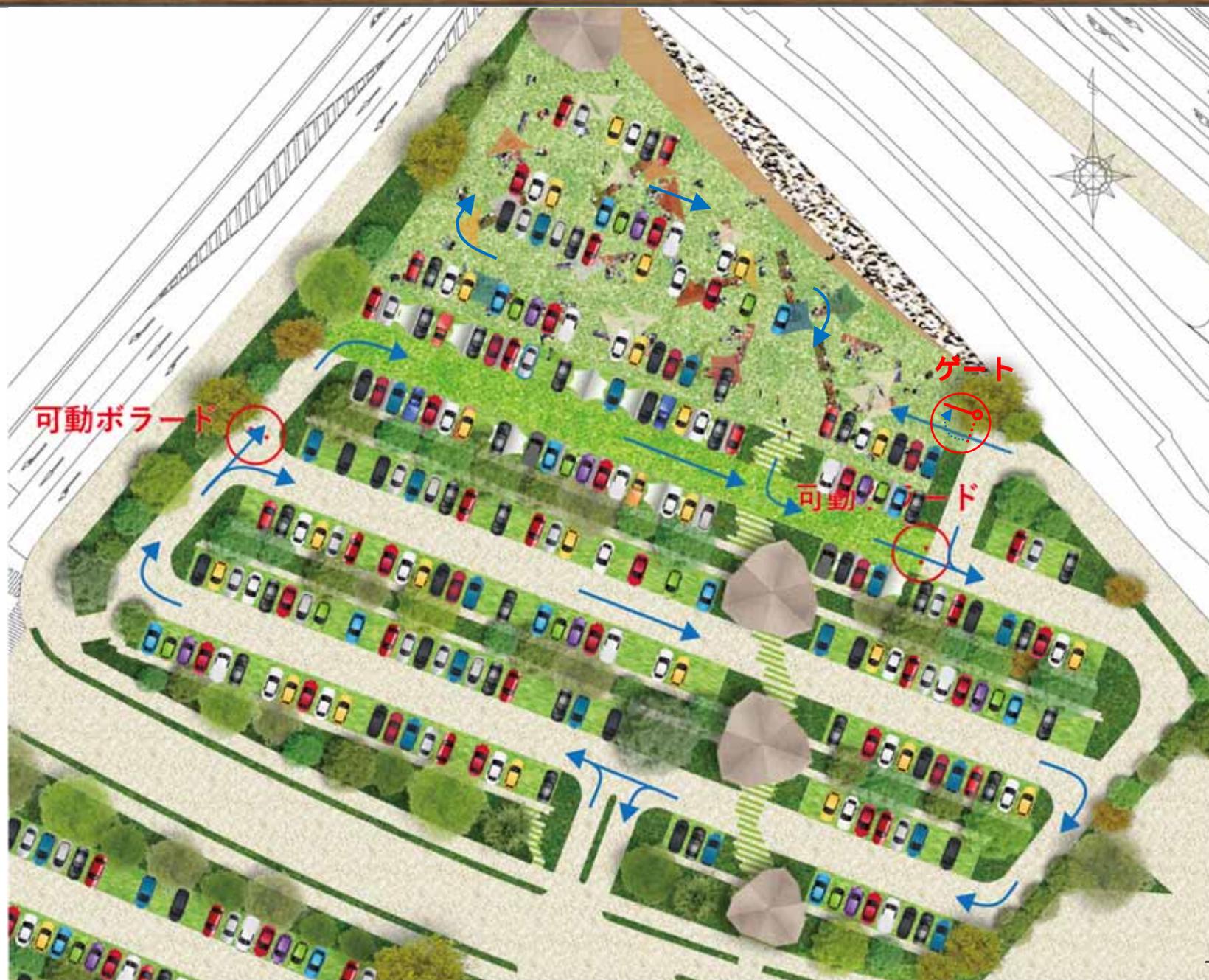
利用状況に応じた駐車場の使い方等を具体的に示して欲しい。

対応方針

特に、北側駐車場 と多目的広場については、状況に応じたフレキシブルな活用ができるようにする。

そのために、可動式の車止め（ボラード）を設置し、駐車場の利用スペースをコントロールできるようにする。

駐車場エリア（ 2 柔軟なスペースの活用 ）



駐車場エリア（ 2 柔軟なスペースの活用 ）

北側多目的広場のマルシェの様子

〔北西から南東を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後 JR 東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

駐車場エリア（ 3 環境・景観への配慮 ）

3 景観・環境への配慮

意見要望

リニア駅前空間で駐車場が大きな面積を占めるので、景観面や環境面からの配慮が大切と思う。

雨がまとまって降る場合なども想定して、防災の面にも配慮して欲しい。

対応方針

駐車場や多目的広場、さらにはコミュニティ広場については、グリーンインフラの考えを取り入れた整備を進める。

具体的には、雨水を浸透・集水できる機能を実現するために、緑化舗装や浸透トレンチの設置を行うとともに、景観に配慮した植栽を計画する。

III 駐車場エリア（3 環境・景観への配慮）

緑化を通じて
地表面の温度
を下げる



本日の発表内容

交流広場・コミュニティ広場

1

賑わいの創出

2

居場所空間づくり

3

グリーンインフラ

交流広場・コミュニティ広場（配置図）



交流広場・コミュニティ広場（1 賑わいの創出）

1

賑わいの創出

意見要望

調整池のためだけのスペースとするのではなく、市民の憩いの場となるような整備を検討して欲しい。

子どもや家族で楽しめる明るい雰囲気エリアとして欲しい。

対応方針

イベント時にはステージや客席としても活用することができる石積や芝生などを配置して、市民の憩いの空間を創出する。

そのために、平坦ではなく起伏のある形状とし、大雨の際には排水を調整する機能を併せ持たせる。

交流広場・コミュニティ広場（1 賑わいの創出）

〔南側交流広場を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

交流広場・コミュニティ広場（1 賑わいの創出）

南側交流広場のイベントの様子

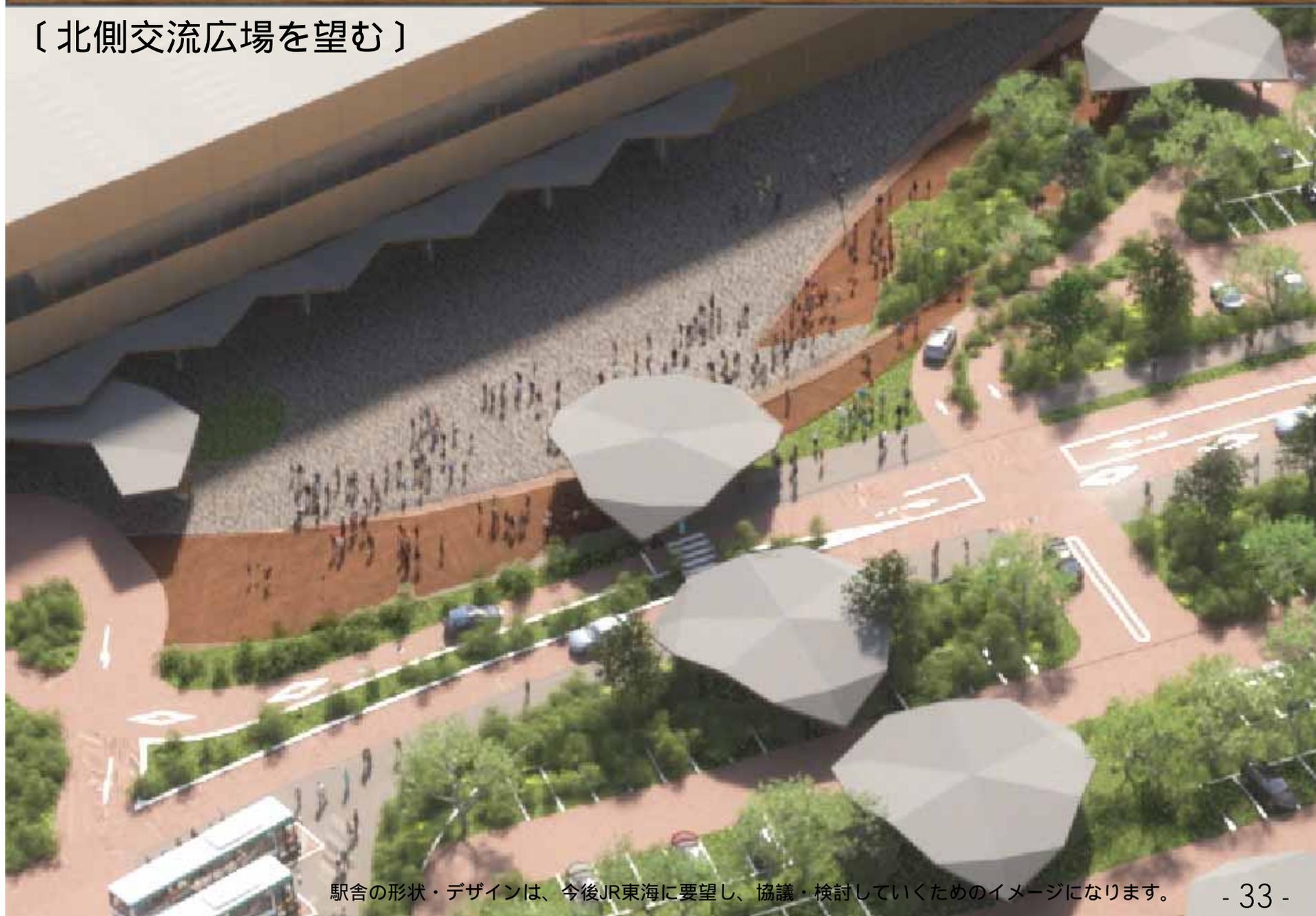
〔西から東を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後JR 東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

交流広場・コミュニティ広場（1 賑わいの創出）

〔北側交流広場を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

交流広場・コミュニティ広場（1 賑わいの創出）

北側交流広場のイベントの様子

〔自由通路出口から北を望む〕



交流広場・コミュニティ広場（2 居場所空間づくり）

2 居場所空間づくり	意見要望	<p>市民やリニアの利用者はもちろん、色々な人が様々な目的に使えるようなエリアであって欲しい。</p> <p>交流広場やコミュニティ広場も、固定的な使い方だけではなく、例えばキッチンカーでの販売やテント市の開催等、レイアウトフリーで自由な使い方ができるようにするといいい。</p>
	対応方針	<p>住民・事業者のほか、学生・専門家等も一緒に議論を重ね、色々な人が色々な目的で利用できる自由度の高い駅前空間とする。</p> <p>交流広場とコミュニティ広場の間には園路を設け、電気照明関係等の設備を配置することにより、マルシェの開催等様々なイベントに活用できるエリアとする。</p>

交流広場・コミュニティ広場（2 居場所空間づくり）

〔南側広場を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

交流広場・コミュニティ広場（ 2 居場所空間づくり ）

〔コミュニティ広場 を望む〕



交流広場・コミュニティ広場（ 2 居場所空間づくり ）

〔コミュニティ広場 を望む〕



交流広場・コミュニティ広場（2 居場所空間づくり）

南側交流広場の大屋根・高架下空間の様子

〔南から北を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後 JR 東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

交流広場・コミュニティ広場（2 居場所空間づくり）

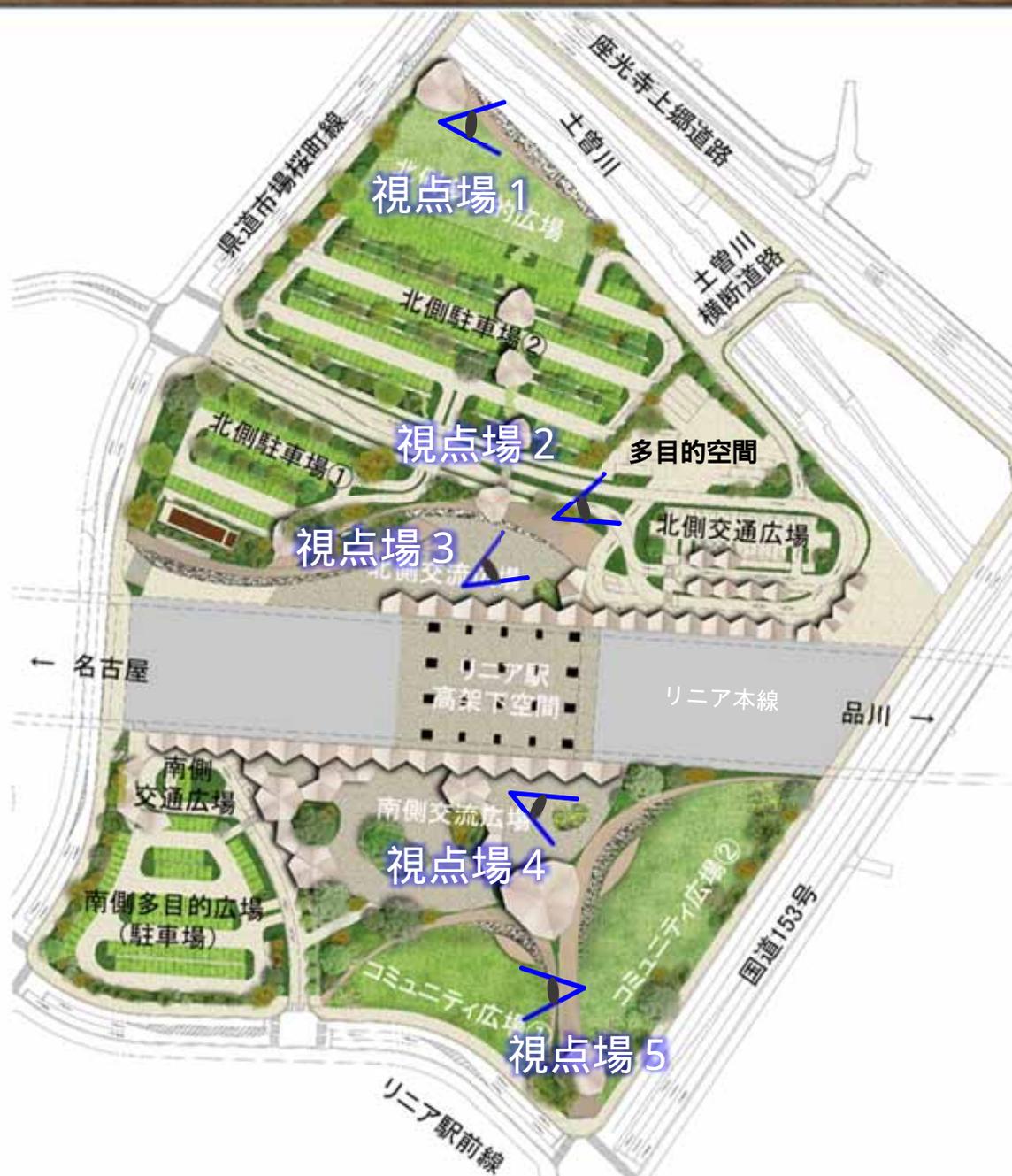
コミュニティ広場でのイベントの様子

〔南東から風越山を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後 JR 東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

補足 視点場の確保



交流広場・コミュニティ広場（3 グリーンインフラ）

3 グリーンインフラ

意見要望

賑わいがあり、様々な人の居場所となる空間づくりを進めるためにも、自然や環境に十分に配慮したリニア駅前空間になるようにしてほしい。

対応方針

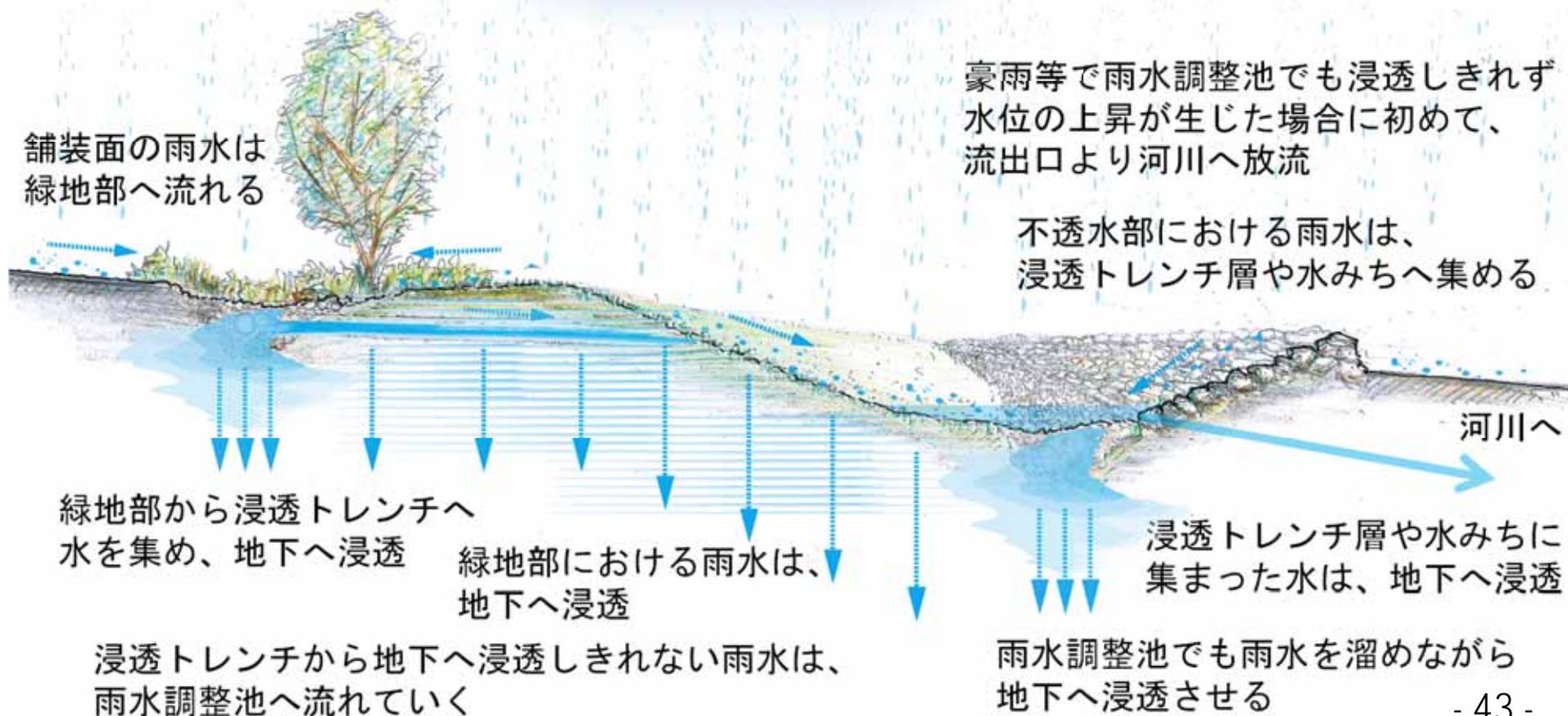
自然豊かで環境に配慮した駅前空間となるよう、グリーンインフラによる整備に取り組む。

施工及び維持管理の面からも、自然や環境への負荷を極力低減する。

IV 交流広場・コミュニティ広場（3 グリーンインフラ②）

降雨時

〔ピークシフト〕
流出量のピークをずらす



リニア駅前空間のイメージ

1

鳥瞰パース A (東 西)

2

鳥瞰パース B (南 北)

3

鳥瞰パース C (北 南)

リニア駅前空間のイメージ（1 鳥瞰パースA）

〔東から西を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

リニア駅前空間のイメージ（2 鳥瞰パースB）

〔南から北を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

リニア駅前空間のイメージ（3 鳥瞰パースC）

〔北から南を望む〕



駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

リニア時代のまちづくりに向けて

1

モビリティとまちづくり

2

駅前広場の利活用について
(地域らしさの具現化と居場所づくり)

3

官民連携の取り組み

4

リニア事業と健全な財政運営

5

ともに取り組みましょう